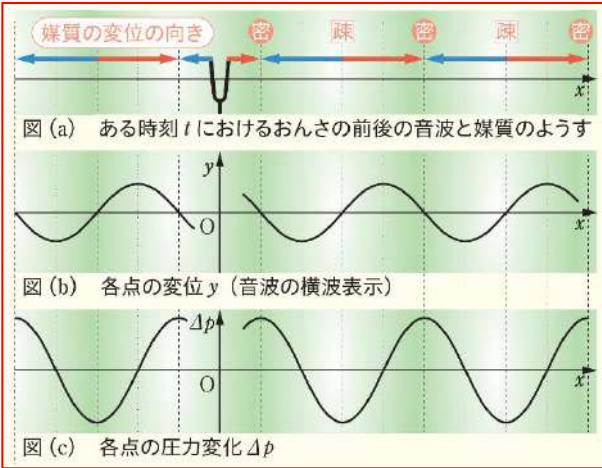
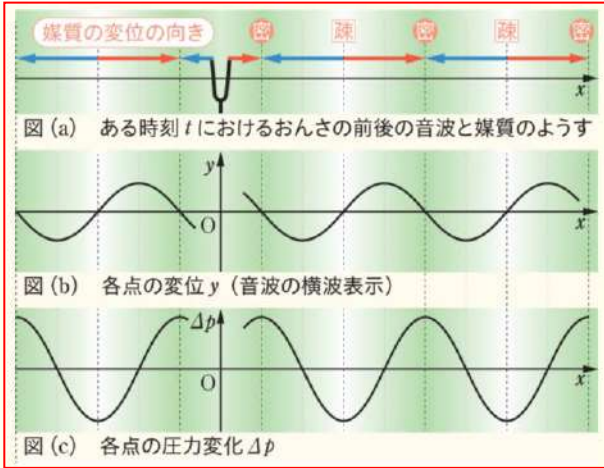


番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	121	32	比熱を $c \text{ J/(g} \cdot \text{K)}$ 、水の比熱を $4.2 \text{ J/(g} \cdot \text{K)}$ <u>として</u> 、次の問いに答えよ。	<u>，室温を $20.0 \text{ }^{\circ}\text{C}$ として</u>
2	153	参考 図	 図 (a) ある時刻 t におけるおんさの前後の音波と媒質のようす 図 (b) 各点の変位 y (音波の横波表示) 図 (c) 各点の圧力変化 Δp ※おんさから前後に等間隔離れた位置では、図(b)は同位相となるのに対して、図(c)は<u>逆位相</u>となる点に注意する。	 図 (a) ある時刻 t におけるおんさの前後の音波と媒質のようす 図 (b) 各点の変位 y (音波の横波表示) 図 (c) 各点の圧力変化 Δp ※おんさから前後に等間隔離れた位置では、図(b)は<u>逆位相</u>となるのに対して、図(c)は<u>同位相</u>となる点に注意する。
3	240	左段 31, 32	(2) 原点から最も離れる： <u>0.63 s後</u> 原点から <u>最も離れたとき</u> の距離： 0.78 m	<u>最上点に達する時刻</u> (削除) (削除)
4	124	25 27 問 17	(3) $Q_1 + Q_2 = 3.36 \times 10^4 + 2.3 \times 10^5$ $= 2.636 \times 10^5 \approx 2.6 \times 10^5 \text{ J}$ 図 $2.6 \times 10^5 \text{ J}$ 問 17 問題 家庭用冷蔵庫の中にある氷は、通常 $-20 \text{ }^{\circ}\text{C}$ である。この氷 100 g をすべて溶かすためには、<u>$20.0 \text{ }^{\circ}\text{C}$ の水が何 g 必要か。</u>表 1・2 の値を用いて答えよ。 ＜振り返り＞ (1) 状態変化の際、熱を加えても温度は変化しないのはなぜか。 (2) 物質の三態において、原子や分子のようすはどのように異なるか。 わかったこと、わからなかったことを、まわりの人と議論してみよう！ CLUMN 火を消す方法 火を消す際には、水をかけることがよくある。水は蒸発熱が大きいので、発火体から熱を奪い、温度を発火点以下に下げることができる。水をかけただけでは発火点以下の温度まで下がらない場合は、消火器を用いるのが有効である。消火器内には薬品が入っており、発火体と酸素が結びつくことを化学的に防ぐことができる。水で火を消すのは物理的、消火器で火を消すのは化学的な方法といえる。	(3) $Q_1 + Q_2 = 3.36 \times 10^4 + 2.3 \times 10^5 = 2.636 \times 10^5 \approx 2.6 \times 10^5 \text{ J}$ 図 $2.6 \times 10^5 \text{ J}$ 問 17 解説 家庭用冷蔵庫の中にある氷は、通常 $-20 \text{ }^{\circ}\text{C}$ である。この氷 100 g をすべて溶かすには、<u>$20 \text{ }^{\circ}\text{C}$ の水が何 g 必要か。</u>水の比熱を $4.2 \text{ J/(g} \cdot \text{K)}$、氷の比熱を $2.1 \text{ J/(g} \cdot \text{K)}$、融解熱を 334 J/g として答えよ。 ＜振り返り＞ (1) 状態変化の際、熱を加えても温度は変化しないのはなぜか。 (2) 物質の三態において、原子や分子のようすはどのように異なるか。 わかったこと、わからなかったことを、まわりの人と議論してみよう！ CLUMN 火を消す方法 火を消す際には、水をかけることがよくある。水は蒸発熱が大きいので、発火体から熱を奪い、温度を発火点以下に下げることができる。水をかけただけでは発火点以下の温度まで下がらない場合は、消火器を用いるのが有効である。消火器内には薬品が入っており、発火体と酸素が結びつくことを化学的に防ぐことができる。水で火を消すのは物理的、消火器で火を消すのは化学的な方法といえる。
5	243	右段 3	[4] (1) a:④, b:①, c:③ (2) <u>28 Wh</u>	<u>$9.9 \times 10^4 \text{ J}$</u>